令和７年度決算についてお知らせします

＊＊＊ まちの財政状況の健康診断 ＊＊＊

決算は、４月から翌年３月までに町のお金がどのように使われたかをまとめたものです。
令和７年度決算の町の財政状況についてお知らせします。

※決算のくわしい内容は、町ホームページをご覧ください。
※四捨五入の関係上、合計が一致しない場合があります。

問 財政管財課　TEL 0178-56-4278



point ① まちのお金の出入り（決算額）を見てみましょう

●一般会計の決算額

一般会計は、町税や国からの地方交付税の収入をもとに、福祉・教育・道路整備などの、生活につながりのある行政サービスを行う会計です。

一般会計の決算収支は、歳入歳出のいずれも前年度より増加しました。歳入では、町税や県支出金が大きく増加する一方、地方特例交付金や地方交付税は減少しました。歳出では、数年来続く物価高騰等の影響により物件費等の経常的な経費が増加し、昨年度実施した建設事業の完了に伴って、国県補助金を受けて行う普通建設事業費は減少しました。

会　計　名	歳　　入	歳　　出	差　引　額
一般会計	139億9,299万円	132億5,975万円	＋7億3,324万円

●特別会計の決算額

特別会計は、特定の目的の事業を行う会計で、一般会計とは区別しています。

４つある特別会計の決算収支は、歳入で前年度比１億388万円の増、歳出で前年度比8,244万円の増となりました。

会　計　名		歳　　入	歳　　出	差　引　額
特別会計	国民健康保険	24億6,353万円	24億4,803万円	＋1,550万円
	奨学資金貸付事業	1,668万円	1,650万円	＋18万円
	介護保険	24億3,967万円	22億8,670万円	＋1億5,297万円
	後期高齢者医療	3億5,644万円	3億4,763万円	＋881万円
合　　計		52億7,632万円	50億9,886万円	＋1億7,746万円

●公営企業会計の決算額

企業会計は、民間企業のように利用料などにより事業を行う会計です。町には病院事業会計と下水道事業会計があります。

病院事業会計の収益的収支決算は、収入支出とも前年度に比べ増加しました。資本的収支決算の不足分は、病院事業会計、下水道事業会計のいずれも損益勘定留保資金等で補填しました。

会　計　名		収　　入	支　　出	差　引　額
病院事業	収益的収支	10億5,653万円	11億5,563万円	△9,909万円
	資本的収支	1億　242万円	1億2,237万円	△1,995万円
下水道事業	収益的収支	8億8,628万円	7億5,849万円	1億2,779万円
	資本的収支	6億7,674万円	8億　166万円	△1億2,492万円

※消費税込の決算額を掲載しています。

point ② 一般会計の内訳を見てみましょう

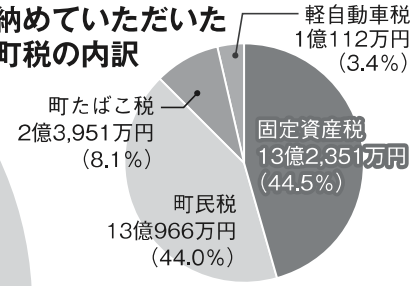
自主財源
39億3,744万円(28.1%)

町　債
11億3,990万円(8.2%)
国や銀行から借りるお金

地方譲与税等
９億3,946万円
(6.7%)
地方消費税など国や県が集めた税金から配分されるお金

町　税
29億7,380万円
(21.3%)

町民の皆さまから納めていただいた町税の内訳



歳入総額
139億9,299万円

国・県支出金
40億8,072万円
(29.2%)
使い道を特定して、国や県から交付されるお金

繰入金
５億1,572万円(3.7%)
町の基金を取り崩して使うお金

地方交付税
38億9,546万円(27.8%)
使い道を特定せず、自治体の財政状況により国から交付されるお金

その他
４億4,792万円(3.1%)
施設の使用料、財産収入や寄附金などの諸収入

依存財源
100億5,555万円
(71.9%)

農林水産業費
２億3,448万円(1.8%)
農業・林業・水産業の振興などに使うお金

その他
２億3,157万円(1.7%)
議会費、商工費、災害復旧費、労働費

消防費
４億5,488万円(3.4%)
八戸地域広域市町村圏事務組合への消防費負担金、消防団の報酬や施設管理、災害対策などに使うお金

公債費
８億7,652万円(6.6%)
町が借りているお金を返すために使うお金

衛生費
９億2,420万円(7.0%)
予防接種・健康診査、ごみ処理などに使うお金

土木費
15億5,256万円(11.7%)
道路の整備、除雪、公園の管理などに使うお金

歳出総額
132億5,975万円
(目的別)

民生費
48億5,367万円
(36.6%)
高齢者や障がい者の福祉、子育て支援などに使うお金

総務費
21億8,136万円
(16.5%)
職員給与、広報、情報政策、交通安全対策など町の運営に使うお金

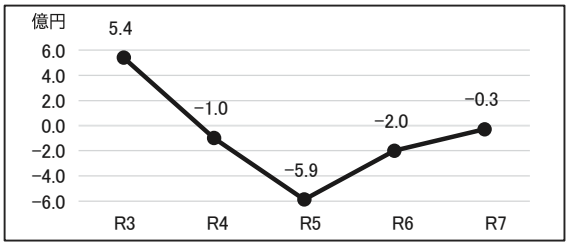
教育費
19億5,051万円
(14.7%)
学校教育や小中学校の管理、スポーツ・文化の社会教育に使うお金



point ③ 財政指標から見るまちの財布

財政指標は、決算数値から町の財政状況を測る「ものさし」のようなものです。どのような観点から財政状況を測るかによって、様々な指標があります。

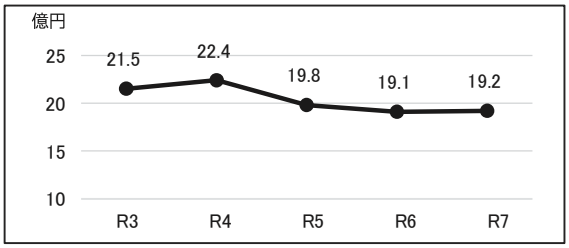
●町の１年間の収支（実質単年度収支）



１年間における財政状況の実態を測る指標で、基金の取り崩しや積立金などの要素を取り除いて、１年間の収支の状況を見る指標です。
令和７年度は、２年連続で増加となりました。



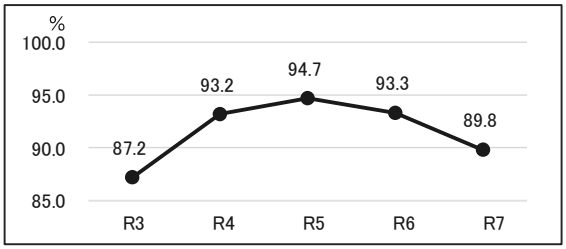
●町の貯金残高（財政調整基金残高）



財政調整基金は、年度間の収支不均衡を埋めるための基金であり、よく貯金に例えられます。
令和７年度は、３年ぶりに増加となりました。



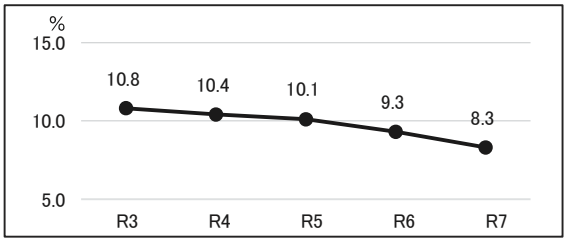
●町の財布の余裕度（経常収支比率）



経常収支比率は、経常的な収入を経常的な経費に充てた割合を表す指標です。この割合が高いほど、急な出費にお金を回す余裕がないことを示します。
令和７年度は、２年連続で減少となりました。



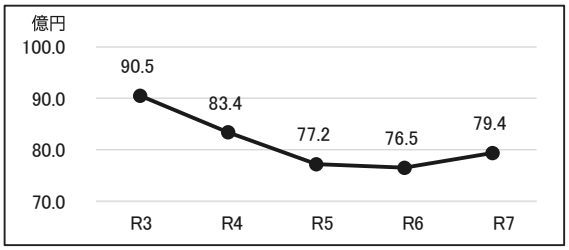
●町の借金返済の負担度（実質公債費比率）



実質公債費比率は、借入金返済の負担の大きさを示す指標です。この比率が高いほど借入金返済が財政を圧迫していることを示しています。
令和７年度は8.3％となり、５年連続で減少しています。



●町の借金残高（地方債現在高）



地方債とは、町が資金調達のために負担する借入金のことです。この残高が大きくなると、将来負担すべき債務が増加していることを表します。
令和7年度は79.4億円となり、８年ぶりに増加しました。

